

学生就職活動 意識調査報告書



2011.5

津商工会議所

も く じ

I 調査概要	1
II 調査結果	
1. 回答者プロフィール	2
2. 今年の就職戦線の印象について	3
3. 就職活動にあたり、主に取り組んでいること	4
4. 就職活動で企業に求めたい情報	5
5. 県内（地元）企業への就職について	6
6. 興味のある業種	7
7. 希望する職種	8
8. 就職後、大切にしたいもの	9
9. 就職先を選ぶとき重視する条件	10
III 調査票	11

※グラフ上の数値は、四捨五入処理を行っている関係で合計値が100%と一致しない場合があります。

I 調査概要

1. 調査目的

わが国の景気動向は、景気低迷もゆるやかな米国経済の回復や新興国の経済成長により、ようやく明るさが見えてきたかに思われた。

しかし、東日本大震災は、明治以降において例のない大災害であり、日本経済に深刻な打撃をもたらした。

この未曾有の災害からの復興には、かなりの時間を必要とすることは明白であるが、雇用面においても先行きの不透明感から採用に消極的な企業が多くなることが予想され、県内の雇用情勢についても悪影響が心配される。

このような状況下において、地元企業の雇用・労務対策の参考となる資料を提供することを目的として、就職活動中である来春卒業予定の学生に対し、学生就職活動意識調査（以下「調査」という）を実施した。

2. 調査対象

企業セミナーに参加した来春卒業予定の専門学校生、短期大学生、四年制大学生、大学院生、既卒者。

3. 調査日及び調査場所

平成23年2月8日（火） メッセウイングみえ

平成23年3月17日（木） メッセウイングみえ

4. 調査方法

企業セミナー会場にて調査票を配布、記入方式で実施。

5. 集計数

307件

6. 調査機関

津商工会議所・専門相談センター

Ⅱ 調査結果

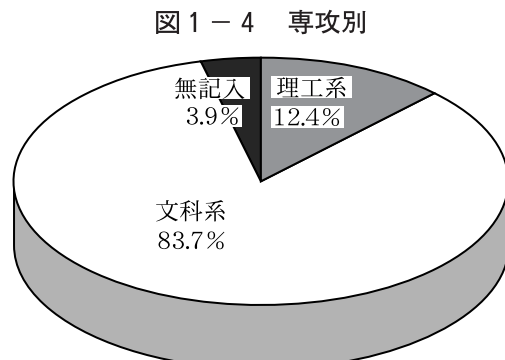
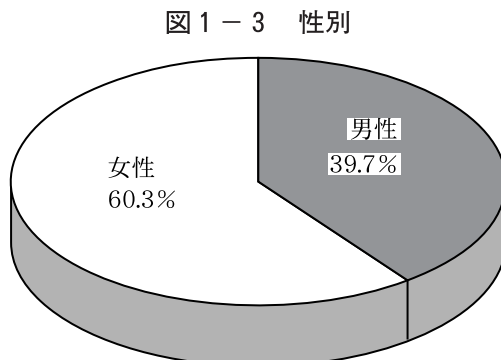
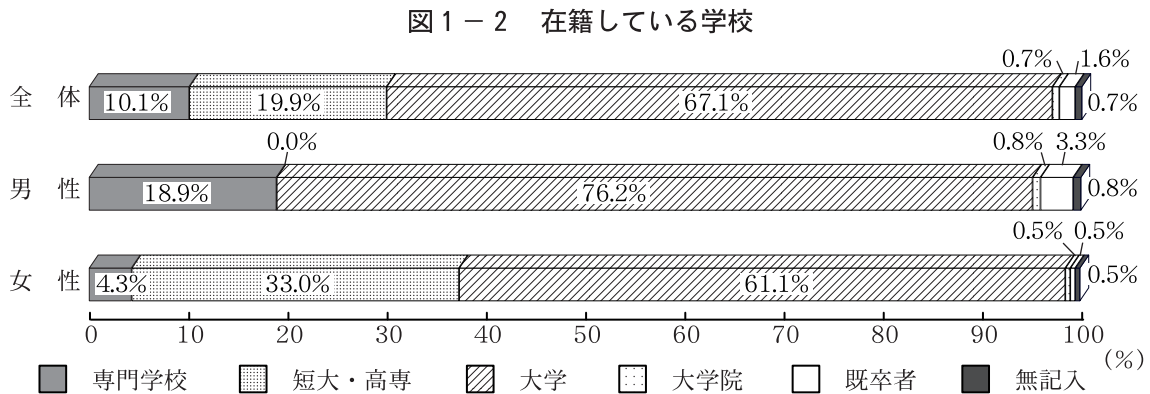
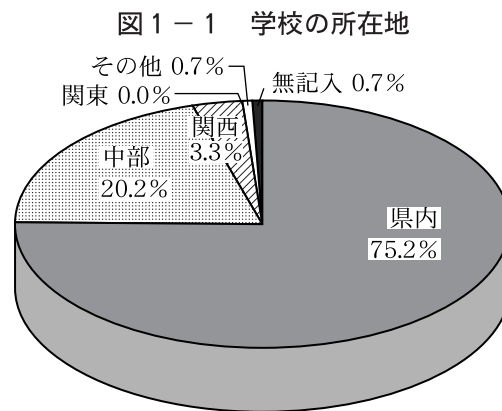
1 回答者プロフィール

(図1-1・1-2・1-3・1-4参照)

アンケート調査の回答者については、県内の学校に在籍する学生が約4分の3であり、県外の学校に在籍する学生では、中部地域が20.2%と最も多く、次いで関西地域3.3%の順であった。

学校別では、4年制大学の学生（以下4大生）が最も多く67.1%、次いで短大・高専19.9%、専門学校が10.1%の順であり、男性では、4大生76.2%と最も多く、次いで専門学校18.9%で、女性では、4大生61.1%が最も多く、次いで短大・高専33.0%であった。

なお、全体の男女別の割合は、ほぼ男性4割女性6割であり、専攻別では、文科系が83.7%、理工系は12.4%、無記入が3.9%であった。



2

今年の就職戦線の印象について

(1項目選択) (図2-1・2-2参照)

9割弱が厳しい印象

今年の就職戦線の印象について、全体でみると「大変厳しい」57.0%と前回調査（以下前回）65.7%と比べると8.7ポイントの減少であった。

また、「大変厳しい」57.0%に「やや厳しい」29.6%を加えると86.6%となり、前回調査（以下前回）の「大変厳しい」65.7%「やや厳しい」25.2%の合計90.9%と比べ4.3ポイント、前々回の「大変厳しい」63.6%「やや厳しい」30.6%の合計94.2%と比較すると7.6ポイントの減少となったものの、9割弱の学生が厳しい印象を持つ結果となった。

図2-1 今年の就職戦線の印象

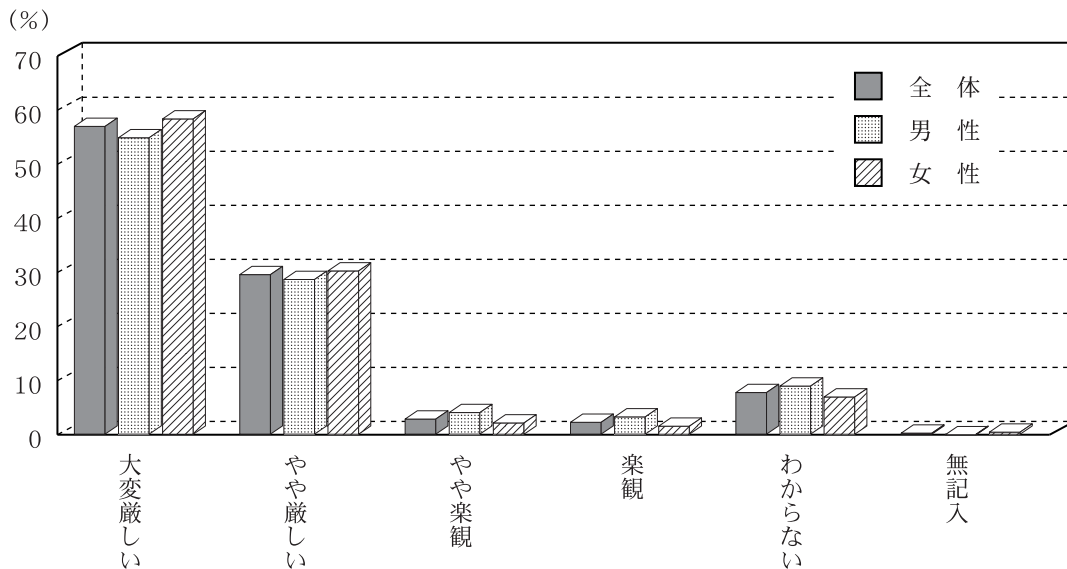
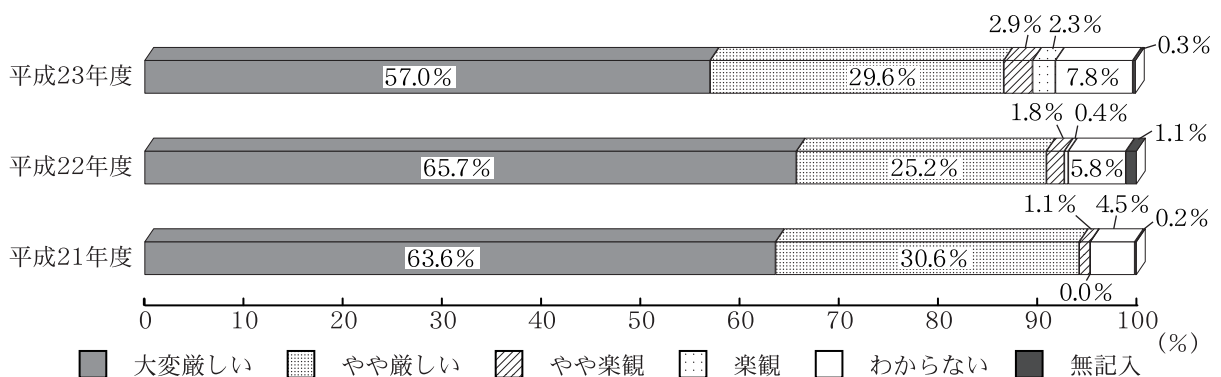


図2-2 就職戦線の印象



3

就職活動にあたり、主に取り組んでいること

(3項目以内選択) (図3参照)

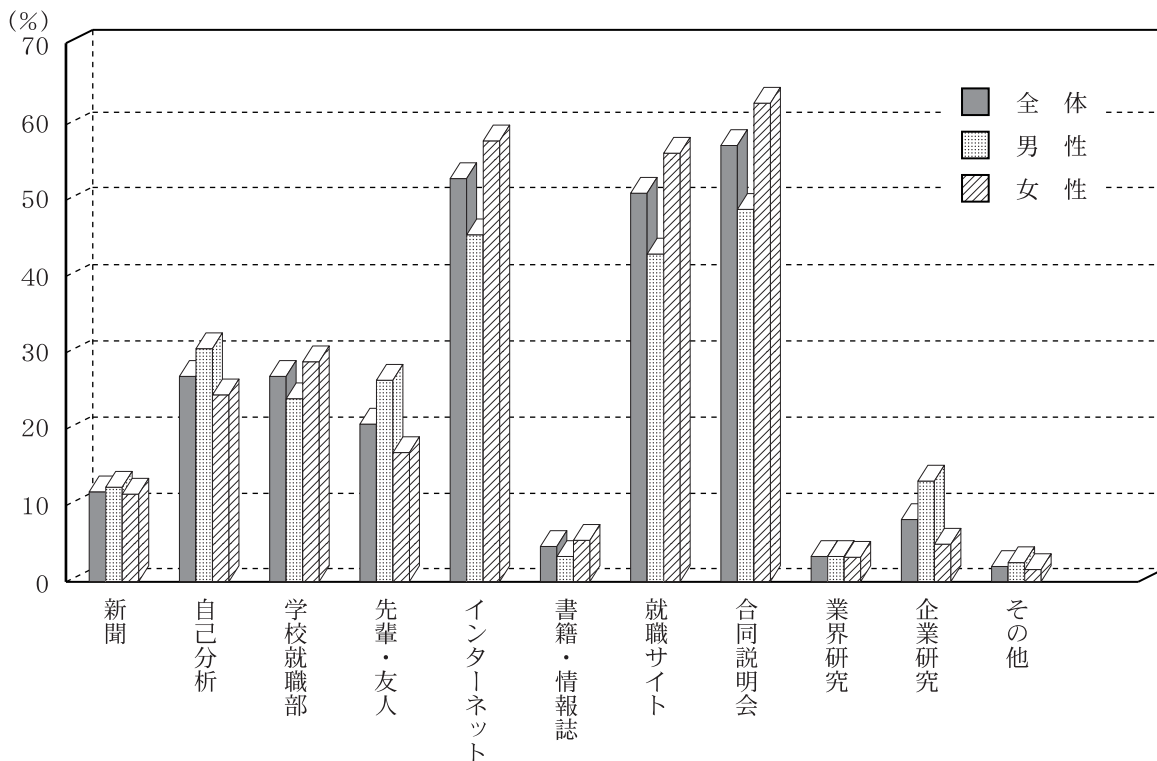
「合同説明会への参加」が1位

全体でみると1位「合同説明会への参加」56.7%、2位「インターネットで情報収集」52.4%、3位は「就職サイトへの登録」50.5%の順となり、前回1位と2位が入れ替わった。

男女別でみると男性の1位は「合同説明会への参加」48.4%、2位は「インターネットで情報収集」45.1%、3位は「就職サイトへの登録」42.6%の順となり、女性の1位は「合同説明会への参加」62.2%、2位は「インターネットで情報収集」57.3%、3位は「就職サイトへの登録」55.7%の順となった。

学生の就職活動には、直接就職担当者に会う機会を持てる「合同説明会への参加」を重視し、同時に「インターネットで情報収集」や「就職サイトへの登録」とITが活用される現状であった。

図3 就職活動にあたり、主に取り組んでいること



4

就職活動を進めるうえで、あなたが企業に求めたい情報は何か。

(2項目以内選択) (図4参照)

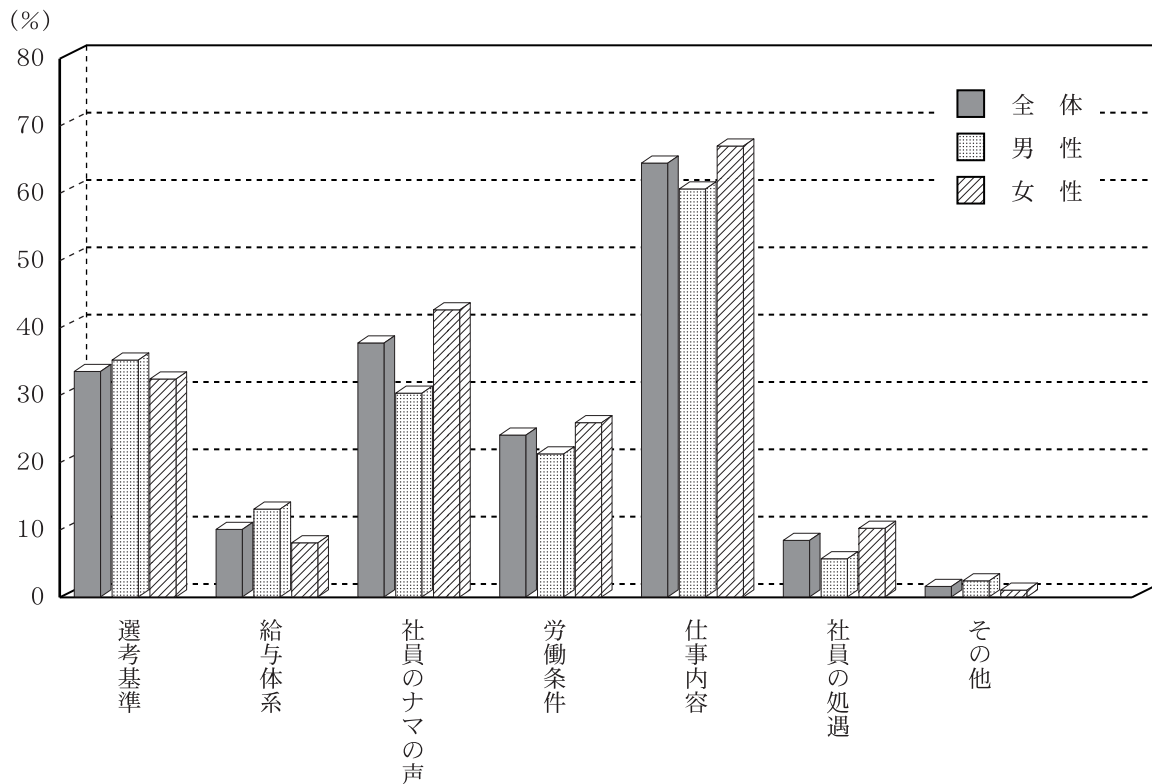
企業に求めたい情報は、6割強が「仕事の内容」

全体で見ると1位は「仕事の内容」64.5%、2位は「社員のナマの声」37.8%、3位には「選考基準」33.6%の順であった。

男女別で見ると、男性の1位は「仕事の内容」60.7%、2位は「選考基準」35.2%、3位は「社員のナマの声」30.3%であり、女性の1位は「仕事の内容」67.0%、2位は「社員のナマの声」42.7%、3位は「選考基準」32.4%の順であった。

全体でも男女別でも「仕事の内容」が1位であり、昨年と同様の結果であった。

図4 企業に求めたい情報



5

県内（地元）企業への就職についてどう思いますか。

（1項目選択）（図5-1・5-2参照）

全体では9割弱が、地元企業を希望

今回調査の回答者は、県内の学校に在籍する学生が75.2%であり、前回の72.3%と比較して2.9ポイントの増加であった。

県内（地元）企業への就職について全体で見ると「ぜひ就職したい」70.7%と前回68.6%と比較すると2.1ポイント増加しているものの、「出来れば就職したい」17.9%を合わせると9割弱の学生が地元企業への就職を希望しており、男女別でも同様の傾向で学生の地元指向が窺える結果となった。

図5-1 県内（地元）企業への就職希望

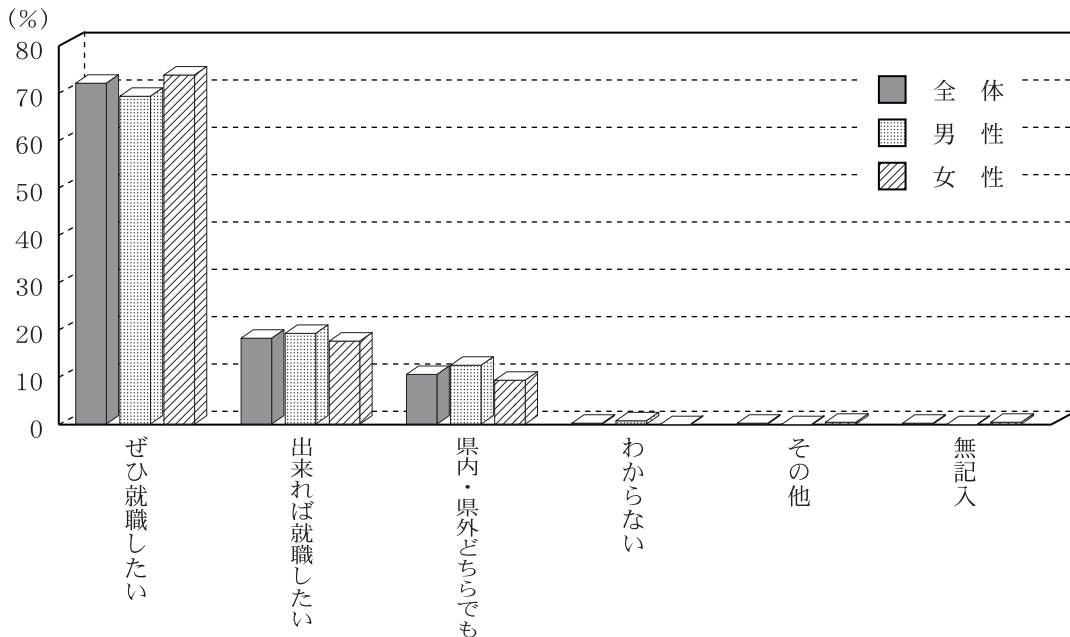
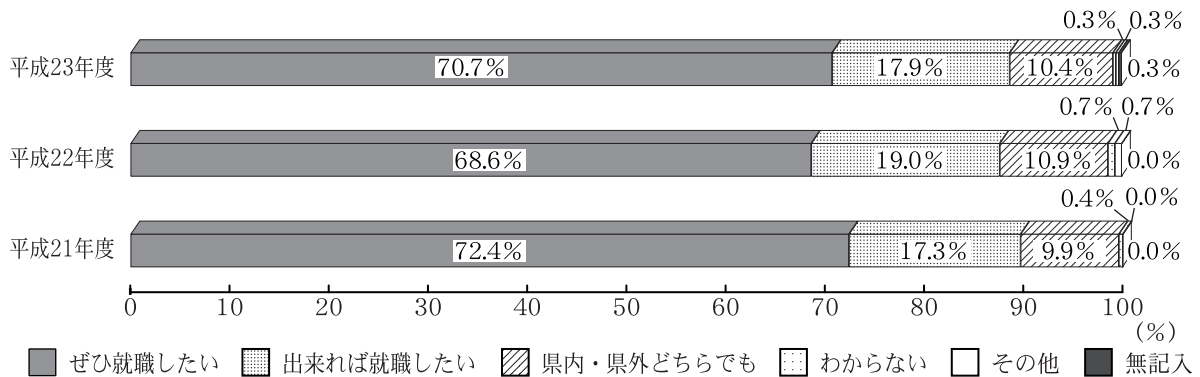


図5-2 県内（地元）企業への就職



6

あなたが興味のある業種は何ですか。

(2項目以内選択) (表1・図6参照)

男性は「製造業」、女性は「サービス業」が1位

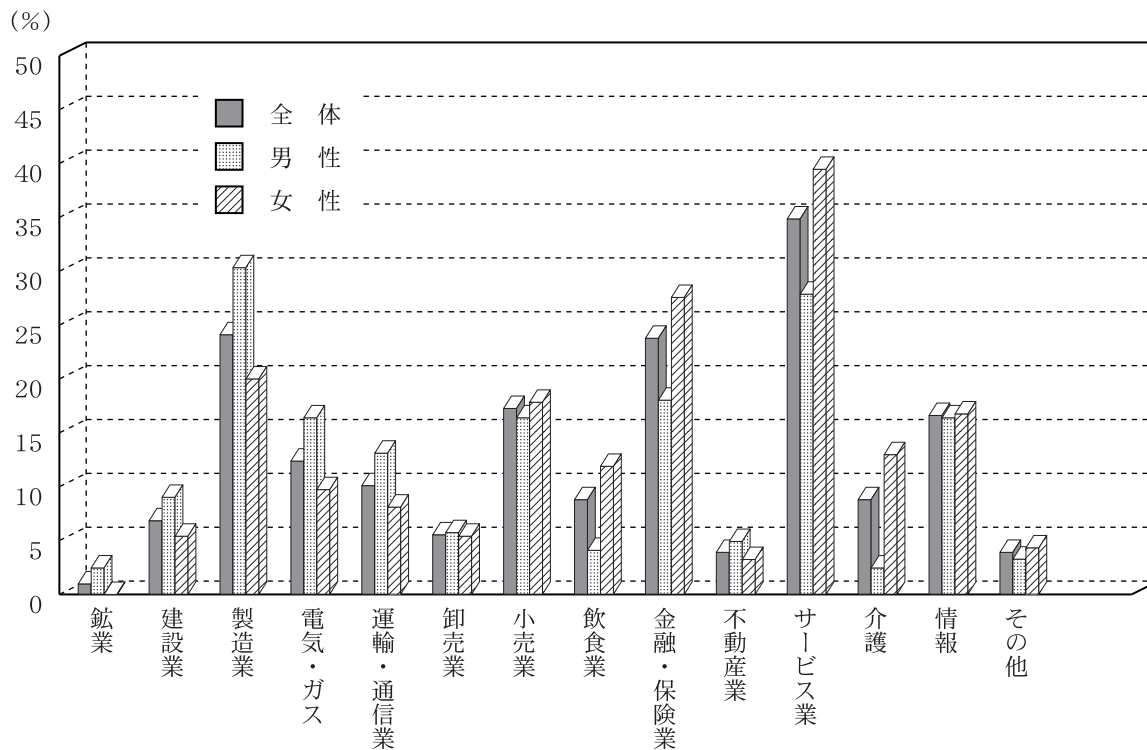
興味のある業種について、全体で見ると1位は「サービス業」34.9%、2位は「製造業」24.1%、3位は「金融・保険業」23.8%、4位は「小売業」17.3%となり、前回2位の「金融・保険業」が3位となり、「製造業」は4位から2位へと順位を上げた。

男女別では、男性の1位は「製造業」30.3%、2位は「サービス業」27.9%、3位は「金融・保険業」18.0%、女性の1位は「サービス業」39.5%、2位は「金融・保険業」27.6%、3位は「製造業」20.0%であった。

表-1 興味のある業種 (全体)

	第1位	第2位	第3位	第4位
平成23年調査	サービス業 34.9%	製造業 24.1%	金融・保険業 23.8%	小売業 17.3%
平成22年調査	サービス業 34.3%	金融・保険業 24.5%	情報 22.3%	製造業 17.2%
平成21年調査	サービス業 34.9%	製造業 23.8%	金融・保険業 22.5%	小売業 14.8%

図6 興味のある業種



7

あなたがもっとも希望する職種は何ですか。

(1項目選択) (図7参照)

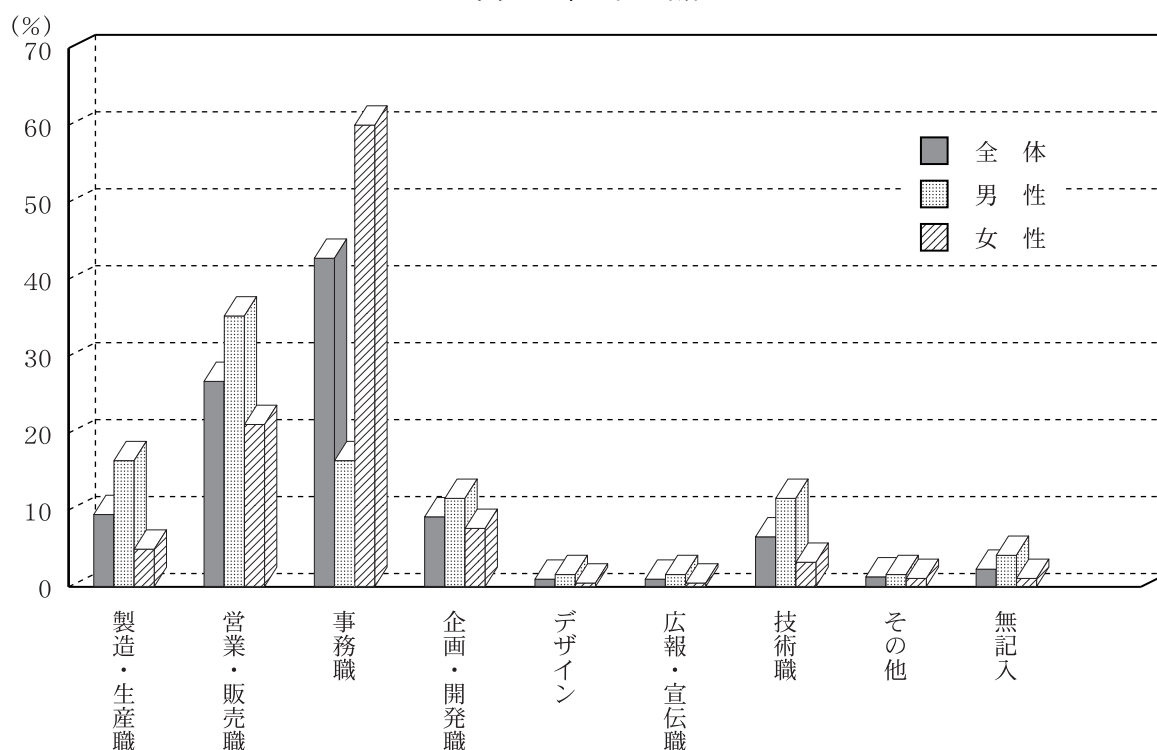
男性は「営業・販売職」女性は「事務職」が1位

全体でみると1位は前回同様「事務職」42.7%であり、2位「営業・販売職」26.7%、3位「企画・開発職」9.4%の順であった。

男女別でみると、男性の1位は「営業・販売職」35.2%、2位は「事務職」と「製造・生産職」が同率の16.4%、次いで「企画・開発職」と「技術職」が同率の11.5%の順であり、女性の1位は「事務職」60.0%（前回56.1%）2位「営業・販売職」21.1%、3位「企画・開発職」7.6%と男性は「営業・販売職」、女性は「事務職」を希望する学生の割合が多かった。

また、専攻別でみると理工系の1位は「技術職」34.2%、2位は「製造・生産職」、3位は「事務職」18.4%であり、文科系の1位は「事務職」45.9%、2位は「営業・販売職」29.6%、3位は「企画・開発職」8.9%の順であった。

図7 希望する職種



8

就職後、あなたが大切にしたいものは何ですか。

(2項目選択) (図8参照)

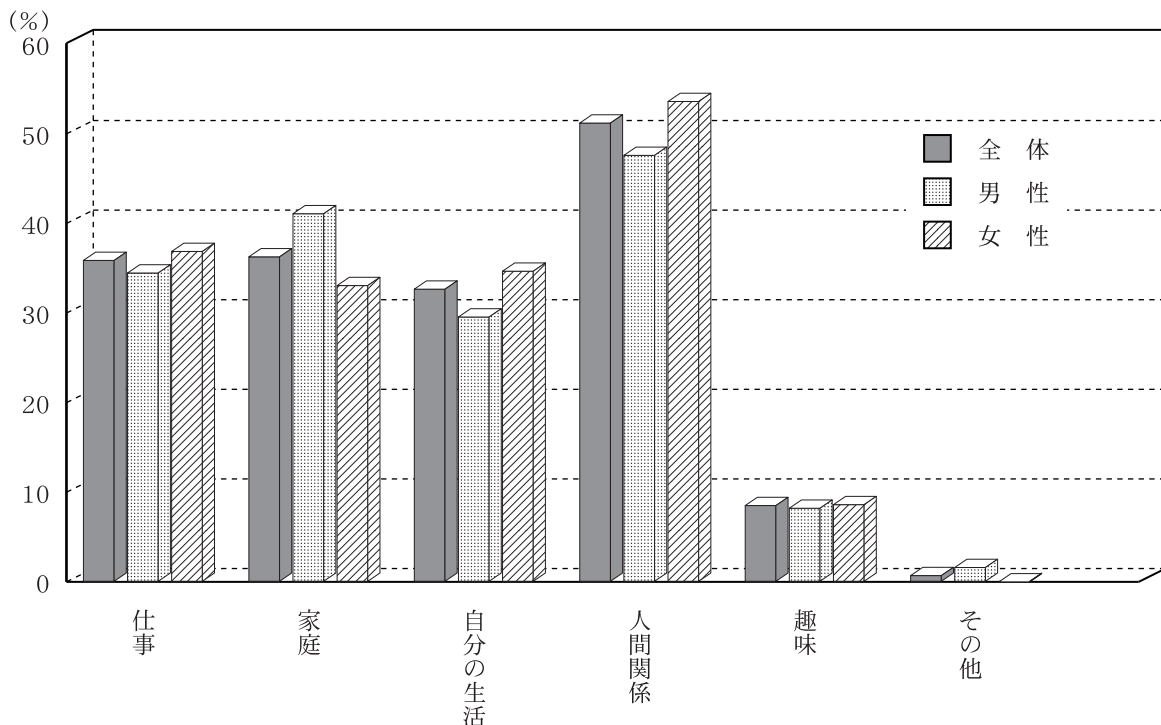
男女共「人間関係」を最重視

全体で見ると、1位は「人間関係」51.1%、2位は「家庭」36.2%、3位は「仕事」35.8%、次いで4位は「自分の生活」32.6%であった。

男女別では、男女共に1位は「人間関係」でそれぞれ男性47.5%女性53.5%、男性の2位は「家庭」41.0%、3位は「仕事」34.4%であり、女性の2位は「仕事」36.8%、第3位は「自分の生活」34.6%の順であった。

前回同様、男女共に「人間関係」と答えた割合が最も多く、男女別では男性の方が女性に比べ「家庭」を大切に考え、女性は男性に比べ「仕事」を重視する傾向であった。

図8 大切にしたいもの



9

あなたが、就職先を選ぶとき重視する条件は何ですか。

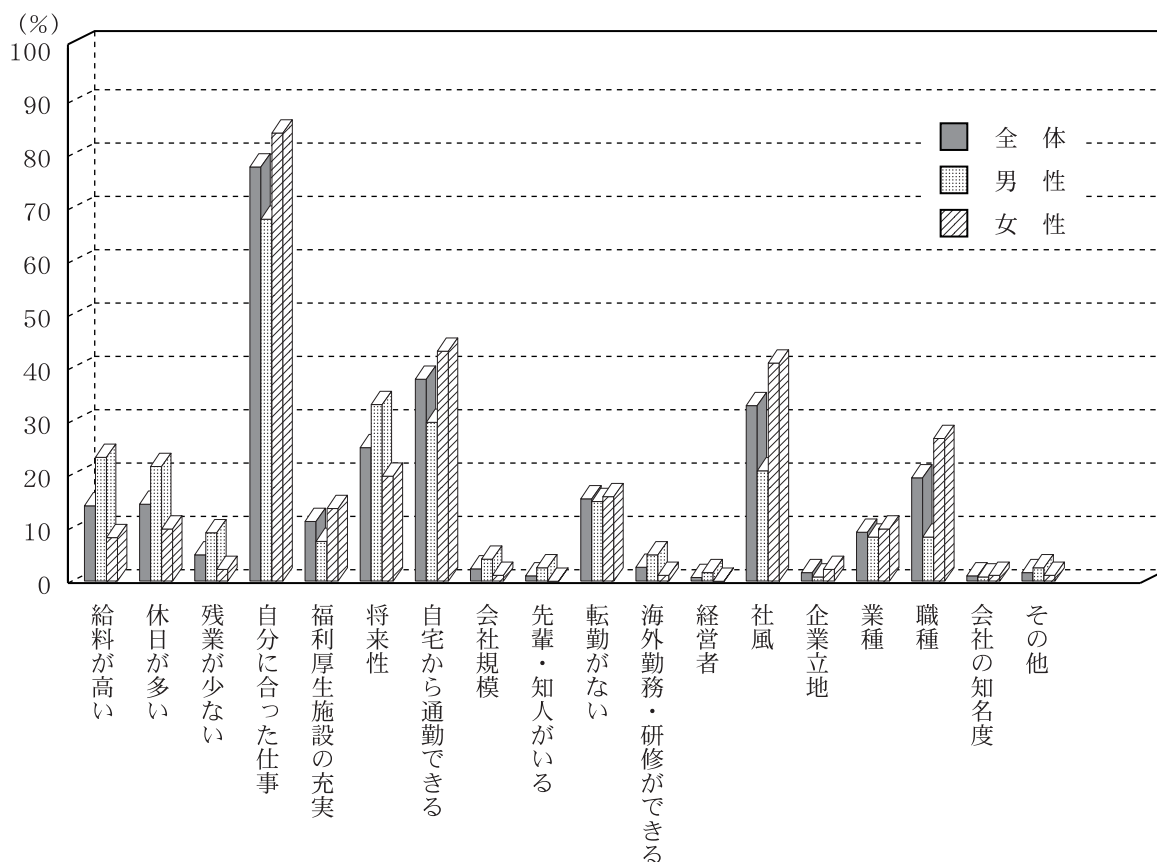
(3項目以内選択) (図9参照)

男女共「自分に合った仕事」が1位

全体でみると、1位は「自分に合った仕事」76.9%、2位は「自宅から通勤できる」37.5%、3位は「社風」32.6%、次いで「将来性」24.8%の順であった。

男女別では、男女共に1位は「自分に合った仕事」で、男性67.2%女性83.2%、男性の2位は「将来性」32.8%、3位は「自宅から通勤が出来る」29.5%であり、女性の2位は「自宅から通勤できる」42.7%、3位は「社風」40.5%と男性は女性に比べると「将来性」を重視し、女性は男性に比べて「自宅から通勤できる」を重視する傾向があった。

図9 重視する条件



Ⅲ 調 査 票

学 生 就 職 活 動 意 識 調 査

※ 該当項目に○印を付けて下さい。

問 1. あなた自身についてお伺いします。

(1) 学校の所在地について

1. 県内 2. 中部 3. 関西 4. 関東 5. その他 ()

(2) 在籍している学校について

1. 専門学校 2. 短期大学 (高専含む) 3. 4年制大学 4. 大学院
5. 既卒者 (平成 年3月卒業)

(3) 性 別

1. 男 性 2. 女 性

(4) 専攻別について

1. 理工系 2. 文科系

(5) 大学名 () 学部名 ()

問 2. 今年の就職戦線の印象について (1項目選択)

1. 大変厳しい 2. やや厳しい 3. やや楽観
4. 楽 観 5. わからない

問 3. 活動にあたり、主に取り組んでいることはありますか。(3項目以内選択)

1. 新聞を熟読する 2. 自己分析 3. 学校就職部での情報収集
4. 先輩・友人・親からの情報収集 5. インターネットで情報収集
6. 書籍・就職情報誌の購入、入手 7. 就職サイトへの登録
8. 今回のような合同説明会への参加 9. 業界研究 10. 企業研究
11. その他 ()

問 4. 就職活動を進めるうえで、あなたが企業に求めたい情報は何か。

(2項目以内選択)

1. 選考基準 2. 給与体系 3. 社員のナマの声 4. 労働条件
5. 仕事の内容 6. 社員の処遇 (福利厚生等)
7. その他 ()

問 5. 県内 (地元) 企業への就職についてどう思いますか。(1項目選択)

1. ぜひ就職したい 2. 出来れば就職したい 3. 県内・県外どちらでも
4. わからない 5. その他 ()

問 6. あなたが興味のある業種は何ですか。(2項目以内選択)

1. 鉱 業 2. 建設業 3. 製造業 4. 電気・ガス熱供給業
5. 運輸・通信業 6. 卸売業 7. 小売業 8. 飲食業
9. 金融・保険業 10. 不動産業 11. サービス業 12. 福祉・介護
13. 情 報 14. その他 ()

問 7. あなたがもっとも希望する職種は何ですか。(1項目選択)

1. 製造・生産職 2. 営業・販売職 3. 事務職 4. 企画・開発職
5. デザイン 6. 広報・宣伝職 7. 技術職
8. その他 ()

問 8. 就職後、あなたが大切にしたいものは何ですか。(2項目以内選択)

1. 仕 事 2. 家 庭 3. 自分の生活 4. 人間関係
5. 趣 味 6. その他 ()

問 9. あなたが、就職先を選ぶとき重視する条件は何ですか。(3項目以内選択)

1. 給料が高い 2. 休日数が多い 3. 残業が少ない
4. 自分に合った仕事 5. 福利厚生施設の充実 6. 将来性
7. 自宅から通勤出来る 8. 会社規模 9. 先輩・知人がいる
10. 転勤がない 11. 海外勤務、研修が出来る 12. 経営者
13. 社 風 14. 会社の立地条件 15. 業 種
16. 職 種 17. 会社の知名度
18. その他 ()

ご協力ありがとうございました

* ご記入いただいた情報は、個人情報保護法に基づき適切に管理し、当目的の地域企業の雇用・労務対策資料として利用し、用途以外での使用は致しません。

学生就職活動意識調査報告書

平成23年5月発行

■ 編集 津商工会議所・中小企業相談所

■ 発行 津商工会議所

本所 〒514-0033 津市丸之内 29-14

TEL 228-9141 FAX 228-7317

支所 〒514-1135 津市久居本町 1347-1

TEL 255-2343 FAX 256-3665